

平成18年8月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)



平成18年1月23日

上場会社名 株式会社プラップジャパン

(JASDAQ・コード番号：2449)

(URL http://www.prap.co.jp/)

代表者 役職・氏名 代表取締役社長 矢島 尚

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役管理本部長 盛 典信 TEL：(03)3486-6831

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)
・税金費用の計上基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
・その他影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便的な手続きを用いて会計処理しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年8月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年9月1日～平成17年11月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年8月期第1四半期	1,044	(—)	167	(—)	169	(—)	94	(—)
17年8月期第1四半期	—	(—)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考) 17年8月期	3,696		433		404		234	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年8月期第1四半期	20	24	—	—
17年8月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 17年8月期	50	73	—	—

(注1) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年同四半期に対する増減率であります。

(注2) 平成17年8月期及び平成18年第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(注3) 四半期決算の開示は、前第3四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び比較については記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、企業収益が高水準で推移するもとで、設備投資は引き続き増加しており、また雇用所得についても緩やかに増加しております。原油価格の動向には留意する必要がありますものの、これら経済情勢の改善を背景に日経平均株価が約5年ぶりに16,000円の水準となるなど、個人消費や雇用情勢にも景気回復の好影響が及んでおります。PR業界におきましては、ジャスダック証券取引所に2社が上場したことによるPR会社の認知度向上により、各種メディアでPR会社の役割や活躍が引き続き紹介されるなど、企業・団体を中心にPRに対する関心及びニーズが着実に高まってきており、景気回復による企業の広報予算増加とあいまって、全体的に経営環境は良好に推移しております。

当社グループにおきましては、M&A・企業統合及び危機発生時におけるメディア対応の重要性の認識が高まったことにより、M&A及び金融PR関連分野のコミュニケーション活動やメディアトレーニングなどのコンサルタント業務の受注が引き続き増加しております。これら利益率の高い高付加価値コミュニケーションサービス業務の獲得増により、当第1四半期は売上高経常利益率は16.2%となり好調に推移いたしました。このような事業環境のなか、当社グループはIT企業、ヘルスケア企業、食品企業などの既存クライアントに対する大型案件の獲得に注力するとともに、新規引き合いに対する受注の確実性を高めるなどして、PR活動業務及びトレーニング業務、M&A関連業務の営業活動を展開いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,044百万円、経常利益は169百万円、第1四半期純利益は94百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年8月期第1四半期	2,754	1,665	60.5	398 56
17年8月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 17年8月期	2,636	1,633	61.9	345 12

(注) 四半期決算の開示は、前第3四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び比較については記載しておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年8月期第1四半期	15	△93	△51	1,242
17年8月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 17年8月期	169	△0	385	1,371

(注) 四半期決算の開示は、前第3四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び比較については記載していません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

①財政状態の変動状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,198百万円と前連結会計年度末に比べ1百万円の増加となりました。これは、営業活動が好調なことから受取手形及び売掛金80百万円、未成業務支出金24百万円などが増加したものの、法人税等及び配当金の支払いにより現金及び預金126百万円減少したことなどが主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、555百万円と前連結会計年度末に比べ115百万円の増加となりました。これは、資金の効率的な運用を図ることを目的とした投資有価証券の取得により63百万円増加したこと、オフィススペースの改善(増床)に伴う差入保証金60百万円が増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、757百万円と前連結会計年度末に比べ80百万円の増加となりました。これは、未払法人税等36百万円、未成業務受入金26百万円などが減少したものの、賞与引当金53百万円や仕入債務103百万円が増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、331百万円と前連結会計年度末に比べ4百万円の増加となりました。これは、退職給付引当金及び役員退職慰労引当金の増加が主な要因であります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本は、1,665百万円と前連結会計年度末に比べ32百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、売上債権の増加、法人税等の支払い、配当金の支払い、投資有価証券及び有形固定資産の取得等の要因により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益169百万円及び仕入債務の増加額103百万円等の要因により、前連結会計年度末に比べ129百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には1,242百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において営業活動に得られた資金は、主に仕入債務の増加額が103百万円、税金等調整前四半期純利益が169百万円計上されたものの、売上債権の増加額が80百万円、法人税等の支払額が113百万円生じたことにより、15百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において投資活動に使用された資金は、主に投資有価証券の売却による収入が7百万円あるものの、投資有価証券の取得による支出が74百万円、有形固定資産の取得による支出が22百万円生じたことにより、93百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において財務活動に使用された資金は、配当金の支払いが51百万円生じたことにより、51百万円となりました。

3. 平成18年8月期の連結業績予想（平成17年9月1日～平成18年8月31日）

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	1,928	209	113
通期	4,126	497	268

（参考） 1株当たり予想当期純利益（連結通期） 53円47銭

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期連結会計期間における業績は、PR活動業務の受注増に伴う大幅な増収増益となり好調に推移しておりますが、当第2四半期において業績拡大に向けて優秀な人材を多く獲得するために、オフィススペースの改善（増床）を計画しております。また、メディアトレーニングで使用しているスタジオやクリエータールームにつきましても、クライアントの多様なニーズに対応するため、会議室が多く設置されているフロアに移転させ、トレーニング環境の充実を図ります。

これにより、前年比で家賃及び修繕費、事務用品費等の販売費及び一般管理費が増加する計画となっており、これら一時的な費用の増大を鑑み、現時点におきましては平成17年10月25日発表の中間期及び通期の業績予想の変更はありません。

○添付資料

四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書、外注、受注及び販売の状況

以 上

1. 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年8月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成17年8月期 第1四半期末)		増 減		(参 考) 平成17年8月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	1,379		—		—		1,505	
2. 受取手形及び売掛金	625		—		—		545	
3. たな卸資産	107		—		—		82	
4. 繰延税金資産	37		—		—		38	
5. その他	49		—		—		28	
貸倒引当金	△2		—		—		△3	
流動資産合計	2,198	79.8	—	—	—	—	2,196	83.3
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	24		—		—		25	
(2) 車両運搬具	2		—		—		2	
(3) その他	38		—		—		40	
有形固定資産合計	65	2.4	—	—	—	—	68	2.6
2. 無形固定資産								
(1) ソフトウェア	1		—		—		1	
(2) 借地権	0		—		—		0	
無形固定資産合計	1	0.1	—	—	—	—	2	0.1
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	176		—		—		112	
(2) 差入保証金	170		—		—		109	
(3) 繰延税金資産	120		—		—		125	
(4) その他	21		—		—		21	
貸倒引当金	△0		—		—		△0	
投資その他の資産合計	488	17.7	—	—	—	—	369	14.0
固定資産合計	555	20.2	—	—	—	—	440	16.7
資産合計	2,754	100.0	—	—	—	—	2,636	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年8月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成17年8月期 第1四半期末)		増 減		(参 考) 平成17年8月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	324		—		—		221	
2. 未払法人税等	71		—		—		107	
3. 未成業務受入金	81		—		—		107	
4. 賞与引当金	106		—		—		53	
5. その他	173		—		—		187	
流動負債合計	757	27.5	—	—	—	—	676	25.7
II 固定負債								
1. 退職給付引当金	76		—		—		75	
2. 役員退職慰労引当金	254		—		—		251	
固定負債合計	331	12.0	—	—	—	—	327	12.4
負債合計	1,088	39.5	—	—	—	—	1,003	38.1
(少数株主持分)								
少数株主持分	—	—	—	—	—	—	—	—
(資本の部)								
I 資本金	470	17.1	—	—	—	—	470	17.9
II 資本剰余金	374	13.6	—	—	—	—	374	14.2
III 利益剰余金	801	29.1	—	—	—	—	777	29.4
IV その他有価証券 評価差額金	18	0.7	—	—	—	—	11	0.4
資本合計	1,665	60.5	—	—	—	—	1,633	61.9
負債・少数株主持分 及び資本合計	2,754	100.0	—	—	—	—	2,636	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年8月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成17年8月期 第1四半期)		増 減		(参 考) 平成17年8月期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	1,044	100.0	—	—	—	—	3,696	100.0
II 売上原価	730	69.9	—	—	—	—	2,810	76.0
売上総利益	314	30.1	—	—	—	—	885	24.0
III 販売費及び一般管理費								
1. 役員報酬	30		—		—		125	
2. 給与手当	28		—		—		106	
3. 賞与手当	—		—		—		22	
4. 賞与引当金繰入額	7		—		—		6	
5. 退職給付費用	0		—		—		2	
6. 役員退職慰労引当金繰入額	3		—		—		13	
7. 貸倒引当金繰入額	—		—		—		1	
8. 減価償却費	1		—		—		6	
9. その他	75		—		—		167	
販売費及び一般管理費合計	147	14.1	—	—	—	—	452	12.3
営業利益	167	16.0	—	—	—	—	433	11.7
IV 営業外収益								
1. 受取利息	0		—		—		0	
2. 受取配当金	0		—		—		2	
3. 投資有価証券売却益	1		—		—		17	
4. 経営指導料	0		—		—		2	
5. その他	0		—		—		1	
営業外収益合計	2	0.3	—	—	—	—	23	0.6
V 営業外費用								
1. 為替差損	0		—		—		2	
2. 新株発行費	—		—		—		13	
3. 上場関連費用	—		—		—		37	
4. その他	—		—		—		0	
営業外費用合計	0	0.0	—	—	—	—	53	1.4
経常利益	169	16.2	—	—	—	—	404	10.9

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年8月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成17年8月期 第1四半期)		増 減		(参 考) 平成17年8月期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
VI 特別利益								
1. 貸倒引当金戻入益	—		—		—		2	
特別利益合計	—	—	—	—	—	—	2	0.1
VII 特別損失	—	—	—	—	—	—	—	—
税金等調整前 四半期(当期)純利益	169	16.2	—	—	—	—	406	11.0
税金費用	75	7.1	—	—	—	—	172	4.7
四半期(当期)純利益	94	9.1	—	—	—	—	234	6.3

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成18年8月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年8月期 第1四半期)	(参考) 平成17年8月期
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	169	—	406
減価償却費	4	—	18
退職給付引当金の増減額	0	—	6
役員退職慰労引当金の増減額	3	—	13
賞与引当金の増減額	53	—	6
貸倒引当金の増減額	△0	—	△1
受取利息及び配当金	△0	—	△2
新株発行費	—	—	13
投資有価証券売却益	△1	—	△17
売上債権の増減額	△80	—	△205
たな卸資産の増減額	△25	—	80
仕入債務の増減額	103	—	13
役員賞与の支払額	△18	—	△18
その他	△81	—	50
小計	128	—	364
利息及び配当金の受取額	0	—	2
法人税等の支払額	△113	—	△197
営業活動によるキャッシュ・フロー	15	—	169
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入れによる支出	△3	—	△14
有形固定資産の取得による支出	△22	—	△21
投資有価証券の取得による支出	△74	—	△8
投資有価証券の売却による収入	7	—	39
貸付による支出	—	—	△2
貸付金の回収による収入	0	—	5
その他	—	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93	—	△0
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	△51	—	△26
株式の発行による収入	—	—	411
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51	—	385
IV 現金及び現金同等物の増減額	△129	—	554
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,371	—	817
VI 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,242	—	1,371

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 外注、受注及び販売の状況

(1) 外注実績

(単位：百万円、%)

事業部門の名称	当四半期 (平成18年8月期第1四半期)		前年同四半期 (平成17年8月期第1四半期)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
コミュニケーションサービス部門	99	36.9	—	—	—	—
クリエイティブサービス部門	170	63.1	—	—	—	—
合計	270	100.0	—	—	—	—

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 四半期決算の開示は、前第3四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び比較については記載しておりません。

(2) 受注状況

(単位：百万円)

事業部門の名称	当四半期 (平成18年8月期第1四半期)		前年同四半期 (平成17年8月期第1四半期)		比較増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
コミュニケーションサービス部門	609	583	—	—	—	—
クリエイティブサービス部門	266	471	—	—	—	—
合計	876	1,054	—	—	—	—

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 四半期決算の開示は、前第3四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び比較については記載しておりません。

(3) 販売実績

(単位：百万円、%)

事業部門の名称	当四半期 (平成18年8月期第1四半期)		前年同四半期 (平成17年8月期第1四半期)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
コミュニケーションサービス部門	784	75.0	—	—	—	—
クリエイティブサービス部門	260	25.0	—	—	—	—
合計	1,044	100.0	—	—	—	—

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 四半期決算の開示は、前第3四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び比較については記載しておりません。